国立新美術館　連続講座：「アートをめぐる場の設計」

様々な専門家をお迎えし、多様な視点から
「共にあること」とアートの関わりを考え学びます。

国立新美術館は、12 月 10 日から全４回の連続講座（主催：国立新美術館）を開催します。
美術館が通常開館に戻り始めた 2022 年、当館では、「美術館を考える」と題した連続講座を開設し、美術館の成り立ちや 90 年代以降のグローバリズム、メディア論的観点から、美術館の公共性を問い直しました。
各地の美術館や芸術祭が再開するにつれ、その場でしか得られない体験やそれらを求めて移動することが、新たな意味を持ち始めています。

2023 年度の連続講座では、さらに視野を広げ「アートをめぐる場の設計」をテーマとします。
全４回にわたって開催される本講座では、アートの第一線で活躍する講師・専門家の講義を通じて学び、立場の違いを超えて共通の関心が形成されていく現在進行中の取り組みを紐解きながら、地域と美術館の関わり、ツーリズム、分散型の映像アーカイブ、環境美学などの観点から、「共にあること」とアートの関わりを考えていきます。
現代美術やアートマネジメントに関心のある方をはじめとする、アートに携わるすべての方とともに、アートと社会の接点を考える場をつくります。

第 1 回は、十和田市現代美術館館長で東京藝術大学准教授の鷲田めるろ氏を迎え、現場で見えてきた課題を共有し、また「地域と美術館の関係を考える」ことを目指しながら、変化する状況を背景に美術館はどのように地域と関わることができるのかを考えます。

国立新美術館は、芸術を介した相互理解と共生の視点に立った新しい文化の創造に寄与することを使命に、2007 年、独立行政法人国立美術館に属する 5 番目の施設として開館しました。以来、コレクションを持たない代わりに、人々がさまざまな芸術表現を体験し、学び、多様な価値観を認め合うことができるアートセンターとして活動しています。具体的には、国内最大級の展示スペース（14,000 ㎡）を生かした多彩な展覧会の開催や、美術に関する情報や資料の収集・公開・提供、さまざまな教育普及プログラムの実施に取り組んでいます。

お問い合わせ　国立新美術館 広報室：オエットリ、井口、本多
企画担当：伊村靖子（国立新美術館主任研究員）
Tel: 03-6812-9925｜E-mail: pr@nact.jp ｜https://www.nact.jp

第 1 回「地域と美術館の関係を考える」

講師　鷲田めるろ（十和田市現代美術館館長／東京藝術大学准教授）

「地域と美術館の関係は大きく 2 つに分けられる。一つは、美術館と地域の人たちとの文化を通じた直接的な関わり。もう一つは、地域外の人たちが美術館を訪れることで生まれる地域への経済的な影響。後者に関しては、金沢 21 世紀美術館が構想された 2000 年頃から、まちづくりや商店街の再活性化などに対して美術館が果たす役割が、さらに十和田市現代美術館が開館した 2010 年頃からは海外を含む観光客を地域に惹きつけるための拠点としての役割が注目されるようになった。変化する状況を背景に美術館はどのように地域と関係すべきか。金沢 21 世紀美術館や十和田市現代美術館を例に、現場で見えてきた課題を共有し、論点を整理する。」（鷲田めるろ）

日時　2023 年 12 月 10 日（日）15:00〜16:30（14:30 開場）
会場　国立新美術館　3 階講堂
定員　60 名　※応募者多数の場合は抽選
料金　無料
対象　どなたでもご参加いただけます。
特に現代美術に関する学術分野（博物館学・美術史学・ミュージアムスタディーズ・空間設計など）に関心のある方、アートマネジメントに関心のある方、アーティスト、公立文化施設について深く考えたい方など。

申込方法　当館 WEB サイト申込フォームにて受付中
https://www.nact.jp/event/2023/005344.html
申込期間　2023 年 11 月 13 日（月）〜 2023 年 12 月 4 日（月）
※全 4 回の講座ですが、1 回ごとのお申し込みとなります。申込方法など詳細は当館ホームページをご確認ください。

講師プロフィール

撮影：小山田邦哉

鷲田めるろ（わしだ　めるろ）
十和田市現代美術館館長／東京藝術大学准教授
1973 年京都市生まれ、十和田市在住。東京大学大学院修士（文学）修了。金沢 21 世紀美術館キュレーター（1999 年から 2018 年）を経て現職。第 57 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーター(2017 年)。あいちトリエンナーレ 2019 キュレーター。著書に『キュレーターズノート二〇〇七ー二〇二〇』（美学出版）。主な論文に「鶴来現代美術祭における地域と伝統」『金沢 21 世紀美術館研究紀要アール』6 号。

お問い合わせ　国立新美術館 広報室：オエットリ、井口、本多
企画担当：伊村靖子（国立新美術館主任研究員）
Tel: 03-6812-9925｜E-mail: pr@nact.jp ｜https://www.nact.jp

第 2 回「芸術体験と空間デザイン」（仮）

講師　山岸綾（サイクル・アーキテクツ代表／中部大学准教授）

日時　2024 年 1 月 28 日（日）15:00〜16:30（14:30 開場）
会場　国立新美術館　3 階講堂
定員　60 名　※応募者多数の場合は抽選
料金　無料
※1 回ごとのお申し込みとなります。申込方法など詳細は当館ホームページをご確認ください。

講師プロフィール

山岸綾（やまぎし　あや）
一級建築士事務所サイクル・アーキテクツ代表 / 中部大学工学部建築学科准教授。原広司＋アトリエ･ファイ建築研究所を経て､2006 年サイクル･アーキテクツ設立。大地の芸術祭･越後妻有アートトリエンナーレで「鉢＆田島征三　絵本と木の実の美術館」「奴奈川キャンパス」、奥能登国際芸術祭で「スズ・シアター・ミュージアム」と「日置美術館公民館」等、拠点施設の設計を行う。あいちトリエンナーレ／国際芸術祭あいちでは、2013 より継続して岡崎、豊橋、豊田、常滑の各会場をアーキテクトとして担当、こうした経験から芸術祭とその空間の研究を行う。

第 3 回「アートをめぐる分散型アーカイブの設計」（仮）

講師　佐藤知久（京都市立芸術大学芸術資源研究センター教授）

日時　2024 年 2 月 17 日（土）15:00〜16:30（14:30 開場）
会場　国立新美術館　3 階講堂
定員　60 名　※応募者多数の場合は抽選
料金　無料
※1 回ごとのお申し込みとなります。申込方法など詳細は当館ホームページをご確認ください。

講師プロフィール

佐藤知久（さとう　ともひさ）
京都市立芸術大学芸術資源研究センター教授。専門：文化人類学、芸術資源研究。主な著作に『コミュニティ・アーカイブをつくろう！―せんだいメディアテーク「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」奮闘記』（甲斐賢治・北野央と共著、2018 年、晶文社）、『フィールドワーク 2.0-- 現代世界をフィールドワーク』（風響社、2013 年）など。芸術資源研究センター研究紀要『COMPOST』編集委員。

お問い合わせ　国立新美術館 広報室：オエットリ、井口、本多
企画担当：伊村靖子（国立新美術館主任研究員）
Tel: 03-6812-9925｜E-mail: pr@nact.jp ｜https://www.nact.jp

第 4 回「ソフィ・カルの視点から」（仮）

講師　松田愛（富山大学学術研究部芸術文化学系准教授）

日時　2024 年 3 月 3 日（日）15:00〜16:30（14:30 開場）
会場　国立新美術館　3 階講堂
定員　60 名　※応募者多数の場合は抽選
料金　無料
※1 回ごとのお申し込みとなります。申込方法など詳細は当館ホームページをご確認ください。

講師プロフィール

松田愛（まつだ　あい）
富山大学学術研究部芸術文化学系准教授。三重県生まれ。フランスの現代美術作家、ソフィ・カルの作品を中心に近現代美術史を研究。主な論文に「ソフィ・カル〈盲目の人々〉論――『距離』と『美』をめぐって」（『富山大学芸術文化学部紀要』第 11 巻、2017 年）、「豊田市美術館『ソフィ・カル――最後のとき／最初のとき』」（『JunCture 超域的日本文化研究』第 7 号、2016 年）など。アートと地域の関わりにも関心をもち、共著書に『アートと地域の協働をキュレーションする』（2022 年）等がある。

国立新美術館　連続講座：アートをめぐる場の設計
2020 年のパンデミック以降、私たちは「共にあること」の意味を自問してきたのではないでしょうか。更に戦争や対立が深まっている日々、美術館においても例外ではなく、異なる立場の人々が同じ空間を共有しながら作品と出会い、遠い世界や他者を想像し、内省的な時間を持つことの意義を再認識しつつあります。
今回の連続講座では、前回の連続講座「美術館を考える」に続き、さらに視野を広げて「アートをめぐる場の設計」をテーマとします。立場の違いを超えて共通の関心が形成されていく現在進行中の取り組みを紐解きながら、地域とアートの関わり、ツーリズム、市民が作る映像アーカイブ、環境美学などの観点から、「共にあること」とアートの関わりを考えます。

関連資料一覧／展示

当館アートライブラリーにて、「連続講座：アートをめぐる場の設計」関連資料の展示を予定しています。直接来館して閲覧いただける他、ホームページ上でも資料一覧を公開します。ぜひご活用ください。

各回紹介／アーカイブ配信

講座終了後に随時アーカイブの配信を予定しています。公開の詳細は当館ホームページでお知らせします。

プレスリリース　お問い合わせ　国立新美術館 広報室：オエットリ、井口、本多
企画担当：伊村靖子（国立新美術館主任研究員）
Tel: 03-6812-9925｜E-mail: pr@nact.jp ｜https://www.nact.jp